

4. 新聞等に掲載された研究

解剖学第二講座 (Anatomy II)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
分 部 哲 秋 講 師	弥生人の形質人類学的研究	科学ニュース誌「SCIaS」	'98. 8. 21	北部及び西北九州地域の弥生人の形態的特徴を調査。当時の人々の骨格形態や風習等を探究。

解剖学第三講座 (Anatomy III)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
小 路 武 彦 教 授	心筋梗塞治療	読 売 新 聞	'98. 12. 5	心筋梗塞治療後の「再灌流障害」を防ぐ抗体を発見し、同障害の新しい治療法の可能性を示した。

細菌学講座 (Bacteriology)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
片 峰 茂 教 授	HTLV-I 母子 感染予防	熊本日日新聞	1998. 9. 29	1000人の母子感染阻止
	”	北海道新聞	1998. 9. 29	ATL ウイルス母子感染人工栄養で阻止
	”	北陸中日新聞	1998. 9. 29	T細胞白血病 1000人の母子感染を阻止
	”	岩手日報	1998. 9. 29	成人T細胞白血病 抑圧へ道筋
	”	大分合同新聞	1998. 9. 29	T細胞白血病の母子感染を阻止
	”	北 國 新 聞	1998. 9. 29	1000人の母子感染を阻止
	”	福 島 民 報	1998. 9. 29	1000人の母子感染阻止
	”	沖縄タイムス	1998. 9. 29	1000人の母子感染阻止
	”	琉球新報	1998. 9. 29	10年間に1000人の母子感染を阻む
	”	長崎新聞	1998. 9. 30	人工栄養で抑圧に道
	”	南日新聞	1998. 9. 30	ATL 断乳で母子感染阻止
	”	佐賀新聞	1998. 9. 30	1000人母子感染阻止
	”	神奈川新聞	1998. 9. 30	T細胞白血病1000人の母子感染防ぐ

衛生学講座 (Preventive medicine & Health promotion)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
齋藤寛 教授 有澤孝吉 助教授	軽度のイタイイタイ病・カドミウム腎症が汚染地域の住民に多発	朝日新聞	1998.08.04	金属鉱山の廃水などに含まれるカドミウムが原因の「イタイイタイ病」の前症状といえる「カドミウム腎症」が全国のカドミウム汚染地域で多発していることが長崎大学医学部衛生学教室などの長期間にわたる調査で明らかになった。同教室は長崎県対馬厳原町で調査。腎症のある住民は障害のない住民に比べて死亡率が高いことなどを明らかにしている。
齋藤寛 教授 高橋達也 助手	カドミウム被害、小坂町で8年ぶり、汚染土壌の改良後はじめての調査	朝日新聞	1998.08.20	長崎大学医学部衛生学教室は30年前から小坂町細越地域住民健康調査を続けている。今回は昭和62年に秋田県が行ったカドミウム汚染水田改良工事完了後の住民の腎機能について調べる。「改良工事の効果により住民の尿中カドミウム濃度は工事完了前よりも低下していると思う、このことを明らかにして住民の方々に喜んでいただきたい」と話している。
齋藤寛 教授 高橋達也 助手	小坂のカドミウム健康被害調査、地区住民112人から採尿	朝日新聞	1998.08.22	長崎大学医学部衛生学教室の齋藤寛教授は高橋達也助手とともに小坂町細越地区の6歳から96歳の住民112人の尿を採取し、住民の最近の健康状態について聞き取りを行った。尿中カドミウム測定を年内に終え住民に報告の予定である。
齋藤寛 教授 有澤孝吉 助教授 高橋達也 助手	三方山で住民の検診実施、水銀調査も	長崎新聞	1998.11.20	長崎市三方山にある民間産業廃棄物処理施設周辺の地下水や井戸水から環境基準を越える総水銀が検出されていることから21日に長崎大学医学部衛生学教室が住民の水銀曝露状況に関する調査研究を行う。尿中総水銀の測定、水銀を多く含む食物の摂取状況などを把握して市内対照地域と比較する。同教室は対馬のカドミウム汚染地域など重金属の健康影響調査では世界的な研究・技術水準を持つ。

原爆後障害医療研究施設 放射線障害解析部門 放射線応答解析研究分野

(Atomic Bomb Disease Institute Radiation Effect Research Unit, Department of Radiation Biophysics)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
奥村 寛 教授	放射線と生命	朝日新聞	'98. 1. 24	医学部8分野の研究の一つとして市民に講演した。
		読売新聞	'98. 1. 28	
		長崎新聞	'98. 2. 1	
奥村 寛 教授	被爆カキの木の放射能測定	長崎新聞	'98. 4. 3	各地で植樹が行われている長崎市の被曝カキの木二世に52年前の長崎原爆の放射能が残っているかどうか測定した。

原爆後障害医療研究施設 放射線障害解析部門 放射線疫学研究分野

(Atomic Bomb Disease Institute Radiation Effect Research Unit, Department of Radiation Epidemiology)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
本田 純久 助手	被爆者の精神的健康調査	四国新聞 中国新聞 山陽新聞 南日本新聞、他	1998. 3. 5	被爆者の精神的健康状態を調査した。被爆時の状況や現在の生活習慣との間に関連がみられ、被爆者に対する心のケアの必要性が示唆された。

原爆後障害医療研究施設 分子医療部門 変異遺伝子解析研究分野

(Atomic Bomb Disease Institute Molecular Medicine Unit, Department of Human Genetics)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
新川 詔夫 教授	求められる遺伝疾患のカウンセラー	NHK第二放送 今日の医学	1998. 5. 3	遺伝病の遺伝カウンセリングについて、原則・方法・効果や、カウンセラーの資格など、日本の現状と将来の展望について話した。
新川 詔夫 教授	遺伝子が開く21世紀の医療 第1部 基調講演	N H K 教育 金曜フォーラム	1998. 2. 14	遺伝子医療の現状と将来について基調講演を行った。

原爆後障害医療研究施設 分子医療部門 分子診断研究分野

(Atomic Bomb Disease Institute Molecular Medicine Unit, Department of Nature Medicine)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
山下俊一 教授	長大とカザフスタン医大 の協力	西日本新聞	98.3.5	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	長大医学生被曝医療現場 の見学	朝日新聞	98.3.23	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	「チェルノブイリ虚偽と 真実」日本語版を出版	長崎新聞	98.4.26	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	衛星通信使い国際的遠隔 医療	日本経済新聞	98.5.19	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	核時代の平和研究	Washington Post	98.6.2	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	台湾陽明大張武修教授特 別講演	長崎新聞	98.6.8	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	長大医学部・ミンスク医 大専門書を共同執筆	朝日新聞	98.6.17	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	医師の卵核に高い関心	西日本新聞	98.6.23	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	インド・パキスタン核実 験でアンケート	朝日新聞	98.6.25	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	原研公開セミナー	長崎新聞	98.8.9	国際ヒバクシャ医療協力
ベラ・プライデン 大学院生	ナガサキ平和リレー	毎日新聞	98.8.9	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	原研のセミナー開催	朝日新聞	98.8.10	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	旧ソ医師団メンバー祈念 式典へ	長崎新聞	98.8.10	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	伝え直す夏	毎日新聞	98.8.11	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	長大で五三会記念シンポ ジウム	朝日新聞	98.8.23	国際ヒバクシャ医療協力
山下俊一 教授	旧ソ連の医師研修	朝日新聞	98.8.29	国際ヒバクシャ医療協力

原爆後障害医療研究施設 分子医療部門 分子治療研究分野

(Atomic Bomb Disease Institute Molecular Medicine Unit, Department of Hematology)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
朝長 万左男 教授	第5部 被爆国から 続 核兵器廃絶への道	朝日新聞	1998. 7. 29	原爆後障害研究の平和構築への貢献。
朝長 万左男 教授	被爆地から長崎「核廃絶」 シンポを前に	朝日新聞	1998. 8. 3	長崎原爆の人類史上における位置づけ。とくに放射能と人類の生存の問題。

原爆後障害医療研究施設 国際放射線保健部門

(Atomic Bomb Disease Institute, Department of International Health and Radiation Research)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
高村 昇 助手	「チェルノブイリ虚偽と 真実」日本語版を出版	長崎新聞	1998. 4. 26	旧ソ連のチェルノブイリ原発事故への対応や、事故前の同国の放射線医療の研究実態などを記した本が翻訳された。
高村 昇 助手	後障害研究会調査報告	長崎新聞	1998. 6. 9	核実験の影響などを追跡調査する必要性を訴えた。
高村 昇 助手	日本放射線影響学会始まる	長崎新聞	1998. 12. 3	旧ソ連チェルノブイリ原発事故被災地を対象に通信衛星を利用して進めようとしている「遠隔医療支援システム」について説明した。

原爆後障害医療研究施設 資料収集保存部 資料調査室

(Atomic Bomb Disease Institute Department of Scientific Data Registry, Biostatistics Section)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
三根 真理子 助教授	原爆による急性症状	長崎新聞	1998. 6. 8	日米合同調査団の記録の中に2 km以遠でも急性症状の脱毛症例があることを報告した。

内科学第二講座 (Internal Medicine II)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
河野 茂 教授	感染症の逆襲 新たなる人類の挑戦	フジテレビ	98. 2. 23	社会問題にもなっている結核症やO157による感染症を始め、近年増加している感染症を取り上げ、その病態や治療法ならびに予防法について解説した。
河野 茂 教授	喫煙と癌	テレビ健康塾 NCC	98. 5. 16	喫煙が肺癌や消化器癌などを高率に引き起こすことや癌の死亡率が高いことを社会に知らせることで、禁煙することの大切さを喚起した。
河野 茂 教授	かび	テレビみゅーで KTN	98. 5. 27	かびにも多くの種類があり、食物を作る良いかびからひとに感染して病気をおこす悪いかびが存在することを紹介した。またかびによる感染症についても説明した。

内科学第三講座 (Internal Medicine III)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
矢野 捷介 教授	不整脈のはなし	NCC テレビ健康塾	1998. 6. 6	不整脈疾患に関する診断と治療について一般向けに解説

外科学第二講座 (Surgery II)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
兼松 隆之 教授	生体肝移植	長崎新聞	H10年 10月5日	3例目の生体肝移植男児退院

皮膚科学講座 (Dermatology)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
片山一朗 教授	アトピー性皮膚炎の顔面 紅斑の治療	CD-ROM 名 医が答える先 進医療	1998	アトピー性皮膚炎の正しい治療に ついて一般に解説
片山一朗 教授	子供のアトピー性皮膚炎	KBC第974回 アレルギー談 話室	1998/6/7	小児のアトピー性皮膚炎の治療を 一般医師に解説
片山一朗 教授	ゴムとアレルギー	KBC第993回 アレルギー談 話室	1998/10/18	ゴムによるアレルギーを一般向け に解説
片山一朗 教授	国際研究皮膚科学会に出 席して	ラジオたんぱ 明日の治療指針	1998/5/29	皮膚科研究の新しい流れを皮膚科 医～一般医師に解説
片山一朗 教授	内科的疾患と皮膚病変	ラジオたんぱ 現代の医学	1998/11/28	全身疾患における皮膚症状を一般 医に解説
片山一朗 教授	第28回日本皮膚アレルギー 学会より アトピー性 皮膚炎のリスクファクター	ラジオたんぱ マルホ皮膚科 セミナー	1998/12/31	アトピー性皮膚炎の発症～増悪因 子を一般医に解説
渡辺雅久 講師	紫外線問答	長崎新聞	1998/4/9	紫外線による皮膚傷害、サンスク リーンの使い方などについて解説
宿輪哲生 講師	にきび	KTN TVみゅーで	1998/6/24	ゲストコメンテーター：ニキビ (尋常性痤瘡)の起こる仕組み、治 療方法とスキンケア、特に正しい 洗顔の方法について解説
宿輪哲生 講師	高齢者と皮ふがん —紫外線と皮ふの老化	長崎新聞	1998/11/20	紫外線が皮膚の老化に及ぼす影響 と、高齢者に好発する皮膚癌の種 類、症状とその予防法について解 説
宿輪哲生 講師	高齢者と皮ふがん —紫外線と皮ふの老化	長崎県医師会 健康セミナー	1998/11/20	紫外線が皮膚の老化と皮膚癌の種 類や特徴、その予防法について、 紫外線防御を中心に解説

麻酔学講座 (Anesthesiology)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
澄川耕二 教授	手掌多汗症	長崎新聞	1998.11.8	手掌多汗症の新しい治療法の開 発・応用について報道。

脳神経外科学講座 (Neurosurgery)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
柴田尚武 教授	脳動脈瘤に新治療	NBC長崎テレビ 「報道センターNBC」	'98. 1. 19	脳疾患に対する高度先進医療の普及
柴田尚武 教授	顔面けいれん最新手術	NBC長崎テレビ 「報道センターNBC」	'98. 6. 24	同上
柴田尚武 教授	脳腫瘍	NCC長崎文化テレビ 「テレビ健康塾」	'98. 7. 4	同上

形成外科学講座 (Plastic & Reconstructive Surgery)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
田中克己 講師	広範囲熱傷患者の長期予後とQOL	Medical Tribune	1998年 6月25日	広範囲熱傷患者の長期観察例から手指熱傷例では救命が優先されたため機能整容不良例があり、より計画的な治療が早期から必要であるとした。

腎疾患治療部 (Renal Care Unit)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
原田孝司 助教授	IgA腎症の臨床および長期予後	メディカルビューポイント	1998. 3. 20	第27回日本腎臓学会ランチョンセミナーにおけるIgA腎症の予後を考えるにおいて解説
原田孝司 助教授	腹膜炎を起こした時	CAPD情報誌 VIVID	1998. 1	CAPD患者さんに対する最新情報・提供

光学医療診療部 (Department of Endoscopy)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
竹島史直 助手	酸性水の特徴と臨床応用	全国保険医新聞	1998/ 6 / 5	弱酸性水を用いた内視鏡消毒

代謝疾患治療部 (Unit of Metabolism)

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
赤澤 昭一 助教授	糖尿病の専門組織	毎日新聞	平成10年 5月27日	糖尿病などの予防と治療が目的の「代謝疾患治療部」が今月から長崎市の長崎大学医学部附属病院に設置された。新しい治療部では、医師と看護婦、栄養士が連携して食事療法や運動療法などを含めた適切な治療をする。医師と栄養士と看護婦による組織は全国初である。
赤澤 昭一 助教授	代謝疾患治療部の新設	九州医事新報	平成10年 9月20日	長崎大学医学部附属病院に糖尿病や高脂血症などの代謝疾患の患者を医師、看護婦、栄養士が一体となり、生活指導も含めて治療をしていく代謝疾患治療部が今年4月発足した。代謝疾患治療部が現在の医療にどのような役割を果たそうとしているのか、そして実際にどのような医療が行われているのか、紹介した記事である。